

# 令和5年度第1回いしかり生きものかけはしプラン有識者意見交換会

## (議事録)

日 時 令和5年8月17日(月) 9時半～12時

場 所 エルプラザ札幌(※委員はオンライン・直接参加)

◇出席者

<委員>

松島 肇 (会長) (北海道大学)

長谷川 理 (副会長) (特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所)

安細 元啓 ((株) 野生生物総合研究所)

赤坂 猛 (一般社団法人エゾシカ協会理事) ※オンライン参加

欠席

立木 靖之 (酪農学園大学環境共生学類准教授)

徳田 龍弘 (北海道爬虫両棲類研究会副会長)

<事務局>

環境市民部 自然保護課

板谷 英郁(課長)

村上 弘晃(主査)

高橋 恵美(主任)

<委託者(R4年度)>

工藤 知美 (特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所)

### 【事務局】

定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回いしかり生きものかけはしプラン有識者意見交換会を開催します。

本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。いしかり生きものかけはしプラン有識者意見交換会の事務局の石狩市環境市民部自然保護課 主査の村上と申します。どうぞよろしく願いいたします。

委員の皆さまにおかれましては、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。今年度より、環境課から新たに自然保護課として独立いたしました。人員も新たにになりましたので、事務局の紹介をさせていただきます。

(事務局挨拶)

本会議は議事録作成のため録音させていただいております。議事録につきましては、でき次第共有させていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、以降の議事進行につきましては、松島会長にお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします

**【松島会長】**

それでは、令和5年度第1回いしかり生きものかけはし有識者意見交換会を開催いたします。議題1、「今後のスケジュール共有について」です。事務局より説明をお願いいたします。

—今後のスケジュールについて省略—

**【松島会長】**

ありがとうございます。質問はありませんか。  
私から質問一点良いでしょうか。市民からの意見については、パブリックコメント以外はありませんか。

**【事務局】**

現在のところ予定はありません。昨年度のように座談会のような報告会を1、2月にするかもしれませんが、今のところは未定です。

**【松島会長】**

もう少し外部の方の意見を入れても良いのかと思いました。環境審議会や保護センター運営員会などの方たちにもお声かけしてご意見を聞いたりするのはどうかと思います。

**【事務局】**

こちらとしては、環境審議会が終了後に石狩浜海浜植物保護センター運営委員にも周知したいと考えておりました。

**【長谷川委員】**

今回の第5回目の後にパブリックコメントをすることになるスケジュールですが、どのパブリックコメントを意見として取り入れるかは会議を通さず、その後の修正を見るような流れになっています。この流れで良いのかなという疑問を持ちました。他の皆さんはどうでしょうか。こちらも聞いたうえで盛り込めるかどうか判断できる方が良いのかなと思いました。そうするとパブコメ後に会議をしても良いのではと思います。

**【松島会長】**

5回目の会議をずらすということになりますかね。

**【事務局】**

今の予定では11月中にパブコメをして、12月頭にまとまったものを皆さんにお渡せるかなと思います。

**【長谷川委員】**

石狩浜のアクションプランについてもこういった形でパブコメをする予定でしょうか。

**【事務局】**

今回の配布したお手元の資料 2-2 として出した分量を公開することになります。

**【松島会長】**

石狩浜アクションプランの会議とこの意見交換会を同時に開催する方法はどうでしょうか。

**【長谷川委員】**

あちらの会議も多くの議題があるので、いかがでしょうか。タイミングとしては良いかもしれませんが。

**【松島会長】**

パブコメを受けて、一度開催したいと思います。今予定している第 5 回の部分はメールでのやり取りでも良いのではないのでしょうか。

**【長谷川委員】**

他の会議だとパブコメをした後に会議ができることがないので、この流れができればさせて頂きたいと思います。

**【事務局】**

それでは、委員の皆様がよろしければ 9 月はメールでのみとし、パブコメ後に対面での開催を予定させていただきます。

**【長谷川委員】**

他の委員の皆様がよろしければ公開してやることも良いかと思えます。

**【事務局】**

希少種の情報がどこまで出るかにもよるかと思えます。開催自体は問題ないかと思えます。

**【松島会長】**

次に、議題（2）意見を踏まえた骨子案について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

—資料説明—

補足

- ・石狩浜アクションプランも追加（P42）
- ・資料 2-2 の修正について資料を追加
- ・P6 について遺伝子の多様性という部分については不適切な説明が含まれているので削除

**【松島会長】**

ありがとうございます。委員の皆様から全体的に気になったところはいかがでしょう。

**【赤坂委員】**

立木委員からあった P14 について、エゾシカについて入れてほしいです。

**【事務局】**

数字的には出てきていませんが、案件としてエゾシカに対する職員の対応が年々多くなっています。今年度の海浜植物の調査中に、エゾスカシユリの花がないものを発見しました。その様子を取った写真を立木委員に見せたところ、エゾシカの可能性が高いということでした。また今回の調査地周辺がアズマヒキガエルで調査している沼があり、そこに設置した自動撮影カメラにもオスジカが写っていたので生態系への影響は懸念されるかもしれないと考えています。

**【赤坂委員】**

シカによる食痕かもしれないということですが、国有林についての情報はいかがでしょうか。林床植生やササについてはいかがでしょうか。

**【事務局】**

こちらでは把握していないので、調べてみます。

**【赤坂委員】**

立木委員の持っている情報もあるかと思しますので、話し合ってみて書いてみたほうが良いかと思えます。

また、ヒグマの目撃情報についてはいかがでしょうか。住宅地付近で見られていることに対する数値データはありますか。

**【事務局】**

ヒグマの目撃については、らしきも含めてあります。ただ、かなり信ぴょう性の低いものでも『らしき』として数値に反映しています。

**【赤坂委員】**

北海道全域でヒグマが増えてきています。石狩市域でもかなり増えているのではと思います。北大のクマ研が調べている天塩演習林内でも増加傾向があるように見えます。石狩市の周辺の当別町では人家の後ろにすぐ冬眠していることがあります。そのため住民周知に関してはかなり慎重に行っています。野生動物の軋轢という点でも、これから石狩市でもあると思います。人畜感染症や餌付けの問題について出ていますが、もう少し減らしても良いのではないかと思います。

**【事務局】**

ヒグマのデータについて、演習林などのデータをもう一度調べなおしてみたいと思います。

**【赤坂委員】**

エゾシカについてもライトセンサスデータも入れていただいで、考慮していただけるとありがたいです。

**【長谷川委員】**

今の話で言うと、前半は北海道の話が多いですが、石狩市としてはどうでしょうか。養鶏場などは多くあるのでしょうか。

【事務局】

数多くはありません。

【長谷川委員】

であれば、鳥インフルエンザの話は課題に入れなくても良いような話ではと思います。用語説明であれば、下のキーワードで入れても十分かなと思います。逆に浜益や厚田の農家さんは電柵をしている話を入れてあげたほうが、現状と課題の話には合っていると思います。エキノコックスにしても、感染者が多くなっている事実があれば書いたほうが良いですが、そうでなければより石狩にフォーカスしたほうが現状と課題という所には適切かなと思います。

【事務局】

今の状態ですと P14 にはキーワードがないので、その部分に用語解説を必要なら入れる方が良いでしょうか。

【長谷川委員】

鳥インフルエンザやエキノコックスの話はあれば親切ではあると思います。必ずしも必要ではないかもしれませんが。

【松島会長】

アライグマのことは外来種だけで良いでしょうか。

【事務局】

農家さんの被害については、数値としてきれいに分かれていないため何とも言えません。他に家庭菜園などで農作物被害があるので何とかしてほしいという声が届いているようなことは聞いています。

【長谷川委員】

具体的に声として届いているものを書く方が良い気がしますが。アライグマの生態系への影響は外来種のところに、エゾシカのスカシユリに対する食害は生態系のところに書く方が良いでしょう。家庭菜園のアライグマへの影響は、軋轢のところに書く方が適していると思います。実情は分かっているないので、そこを調べるのが大切ですか、明らかになっていないとか。そこを施策に繋げていく。

【安細委員】

P8 の天然生海岸林という言葉が一般的ではないので用語解説があると良いかなと感じました。

【松島会長】

林学の用語ですね。用語解説があったほうが良いかと思います。

【安細委員】

また、P10 の 246 行目にある希少な生きものが何を指しているのか漠然としているよう

な気がしました。

**【長谷川委員】**

基本的な所なのですが、P5 ではかけはしプランは計画となっていて、P34 にも計画となっています。タイトルもプランで、仮称が生物多様性地域戦略となっています。イメージとして戦略は練り直しやすく、その下に行動計画が来る。もう少し言葉を整理したほうが良いと思います。サイクルとしての PDCA サイクルは良いけれど、どこまでが行動計画、どこが中期目標でどこが行動計画か分かりにくいと思います。あくまでもかけはしプランは戦略として、戦略的に行動していくということで、施策をどこまで書くかの書きぶりが変わるのではないかなと思います。そこを踏まえて、施策の規模、行動目標なのか状態目標ということにもなると思います。

**【松島会長】**

この名前のプランは和製英語的な意味でのプランですよね。計画と戦略の区別していない。北海道の方も戦略と計画がついていません。北海道は計画で、条例で位置づけているので仕方ないです。行動計画としてアクションプラン、その上に戦略があるので誤解がないように区別はした方がいいですね。

**【長谷川委員】**

タイトルはいいと思います。ひらがな混じりで、カタカナ英語を使う分には問題ないと思います。これがもっと分かりにくい単語だと、意味が伝わりにくい。戦略という熟語が分かりにくいけど、戦略としての位置づけを示せると良いと思います。

**【事務局】**

例えば細かい点でいうと P5 の 92 行目の『本プランは～』など計画にあたるものは戦略に置き換わるということでしょうか。

**【松島会長】**

そうですね。使い分けはきっちりしたほうが良いです。

**【事務局】**

行動計画はアクションプランに統一したほうが良いでしょうか。

**【長谷川委員】**

どちらかに統一したほうが良いです。意味的にはアクションプランは行動計画。

**【松島会長】**

戦略を達成するための行動計画はあくまでも計画なので、そこはアクションプランが良いと思います。

**【事務局】**

改めて見直して修正させていただきます。

**【長谷川委員】**

戦略の下に来るアクションプランについては行動計画なので具体的な施策を書いていると思いますが、そこに出てこないような課題については、戦略の中で取り組みも書く必要

が出てくると思います。施策や目標の所に、中長期的な具体的な取り組みについても文章化するのかという整理をしていく必要があると思います。どこまで具体的な文章にするのかは難しい。

**【松島会長】**

本来的には行動目標に対して、行動計画がぶら下がると理想的ではあると思います。石狩は緊急性や必要に応じて別途アクションプランを定めるということにしているので、それぞれになくてはいいいと思います。

**【長谷川委員】**

前からこの話について気にかかっていた。皆さんはいかがなのでしょう。

**【松島会長】**

難しいですね。愛称的な意味を込めて、サブタイトルには地域戦略は必要だと思います。

**【安細委員】**

議題に上がると気にはなりますよね。

**【長谷川委員】**

統一したほうが良いという提案はしたと思うのですが、内容として戦略であるべきと思いこの話題を出しました。

**【松島会長】**

プランといわれると戦略で、アクションプランになると行動計画の説明が必要になりますね。

**【長谷川委員】**

ただ、上位計画が環境基本計画になりますよね。国家戦略は戦略で、その下の地域戦略なので、戦略である方が良いですね。

**【松島会長】**

計画とプランが入り混じっているの、全て戦略ですね。

**【長谷川委員】**

紛らわしいのであればかけはし戦略にしてしまうとか。アクションプランはアクションプランということで使い分けてしまう。

**【事務局】**

まだ正式に施行しているわけではなく仮称なので、変更することは可能です。『かけはし戦略』に変更しましょうか？

**【長谷川委員】**

プランという言葉自体は理解しやすく良いのですが。

**【事務局】**

子どもがパッと見てもわかるようにという気持ちで名付けた理由もあります。

**【長谷川委員】**

後はタイトルデザインを考えたときに、画数が少ない方が良いと思います。

**【松島会長】**

今のお話から、P6 の図 1-1 についてこのままで適切なのかなと感じました。国との関係性、生物多様性国家戦略との関係性などはいかがでしょう。

**【事務局】**

環境基本計画に書かれてある図をそのまま引用したので、生物多様性が主人公にはなっていない書きぶりになっていますね。主語を生物多様性にすると、生物多様性国家戦略などになりますね。

**【長谷川委員】**

始めは生物多様性条約の話が文中に入っていましたが、石狩市の話にたどり着かないということで除いてもらいました。その分をこの図に盛り込めると分かりやすいような気がします。

**【松島会長】**

位置づけとしては、他の個別計画と同じ並びになるのでしょうか。温暖化とか。

**【事務局】**

環境基本計画に下がる、個別計画として位置づけています。実効性などについては温度差があるかもしれませんが。

**【長谷川委員】**

こういった流れで作成しているから、計画として成り立つのでしょうか。生物多様性に関する文章がないから位置づけとしてはこれで合っているのでしょうか。環境個別計画と関連計画については何か明確なわけがあるのでしょうか。

**【事務局】**

個別計画については、環境基本計画に基づいた個別計画で、関連計画についてはあくまでも関係しているだけで環境基本計画には紐づいていない計画です。

**【長谷川委員】**

せっかくなので使える図にしてほしいと思います。

**【松島会長】**

森林整備計画や都市計画など、生物多様性に配慮した計画に進めてほしいので、きちんとつなぐ線を描いてほしいと思っています。市の多様性を保全して、その後どうするという所にはしプランがあるという位置づけにしたいです。繋がっているということは、色々ところで言われています。そのつながりを考えていなかったから回復しなかったのです。

**【事務局】**

別表にある法律のまとめに書かれてあるものをベースに、今の法律をベースに紐づけて戦略を中心に個別計画を出していけるように作りたいと思います。昨日のアカモズ会議でもありましたが、全く違う分野の法律の生物多様性が関わっていることがあるので、そう



いったものが一目でわかるような図式をできるように整理したいと思います。

**【赤坂委員】**

P34のPDCAサイクルについて、他の計画でも取り組んでいるのでしょうか。この計画が初ですか。

**【事務局】**

基本的にはPDCAサイクルを取り入れていると思います。

**【赤坂委員】**

エゾシカの管理計画について、PDCAサイクルを取り入れて毎年計画を策定しなおしている。毎年見直すことによって、柔軟に戦略を考えていくものだと思っています。毎年のデータをもとに次年度のことを考えるという流れをしていけば、より良いものができると思っています。

**【松島会長】**

確認ですが、この戦略については10年毎ですよね。

**【事務局】**

中間として2030年、2040年を計画の見直しとしています。事業としては、毎年環境白書に載せていくので、事業の判断は毎年になると予定しています。

**【長谷川委員】**

どこまで書けるか分かりませんが、だれがどこまでの見直しをするかは考えておいた方が良いでしょう。検証・評価を誰がいつやるのか、報告については環境白書と書いてあるので良いでしょう。PDCAサイクルについて書いてはいるけれど、何年ごとにとという具体性は書かれていない。本当にできるのかというところはない。今はこの計画を策定するためにありますが、環境審議会の部会として今後設置をして毎年1回進捗状況を見直しするのかということについては、考えていく必要があるかと思っています。今後の予定はどう考えていますか。

**【事務局】**

石狩浜のアクションプランについては、現在ある検討会議を改めて進捗状況を考える会議とすることを想定しています。かけはしの方は、2030、40年に会議を開くということは想定していますが、毎年どうするかというところまでは考えられていません。環境審議会の部会については、部会を設置するためには環境審議委員のみで構成することになるため、本会もこのような形になりました。個人的な考えにはなりますが、環境審議会のみで判断するのは難しいと考えています。

**【松島会長】**

今の話はレベル別かと思っています。アクションプランについては毎年見ていき、戦略については10年毎でも良いのかと思いました。

**【赤坂委員】**

今のような方向性で良いのではないのでしょうか。

**【長谷川委員】**

もう少し短期的に見てもいいのかなとは思いますが

**【松島会長】**

出来てからだと5年でしょうか。明記しないと開催しない可能性がありますよね。

**【事務局】**

本音を言えば、事業の見直しを7年のスパンは長いと思うのですがいかがでしょうか。

**【長谷川委員】**

例えば状態目標だとそこまで変化がなければ良いのかもしれませんが、行動目標であれば毎年評価できないことはないかと思います。戦略を根拠に事業を進めるときに、アクションプラン以外は7年先まで報告しないということもありうるのはいかがでしょうか。それを、委員を収集してやるのか、報告をするのかはやり方次第な気がしました。

**【事務局】**

事業をする側としては、率直にご意見をいただきながら反映していける方がより良いのかと思います。

**【長谷川委員】**

これをロードマップにすると大変かもしれませんが、短期間でも評価を入れられるものをやれると良いと思います。会議の必要性はともかくですね。市民向けの何かでも良いと思います。フォーラムとか。毎年関連したものをやるなどはどうでしょうか。来年以降の委員についてはどういった形でしょうか。

**【事務局】**

この戦略を作成しても市民の方たちには何もしなければわからないので、発信していく思いはあります。この戦略を作ったことをスタートに、自然について発信できる場を作っていきたいと思っています。会議については初年度に作れば、スパンが見え行くのではないかと考えています。

**【長谷川委員】**

それは事務局に是非考えていただきたいですね。フォーラムやパネルみたいなものでもよいし、検討会になるとクローズになるのでオープンなもので良いと思います。

**【事務局】**

環境白書は一年遅れての報告になるので、より現状の話となるとフォーラムのような形になるのかなと思います。保護センターや市民図書館と連携して発信できるようなことを考えたいと思います。

**【松島会長】**

戦略のアウトプット、会議等について具体性をもって書いておけるようにいただければと思います。

P14 について、ここのキーワードがないので入れる単語があると良いかと思います。また、書き方なのですが、表現の仕方などでこの対象にするかを統一したほうが良いかと思

ます。また、中点で区切っているのですが普通は読点なのかなと思いました。リデュースなどは中点になっていますが、読点のイメージでした。

**【事務局】**

他の表現を見て少し考えてみます。

**【松島会長】**

細かい所になるのですが、P9などにEco-DRRの記述があるかと思います。最近ではそれらを含めてNature based Solutionsと一般的に書かれるので、大きなくくりはNbSとして、具体的な施策でEco-DRRとした方が良いかと思います。

**【事務局】**

追記・修正させていただきます。

**【松島会長】**

先ほど削除すると言っていた遺伝子の部分ですが、代わりに書く内容はあるのでしょうか。

**【事務局】**

代わりに考えているのが、ヒグマの話にしようという案があります。

**【長谷川委員】**

増毛の話ですか？ハマナスの実については、個体ごとに違うということでしょうか？

**【松島会長】**

ハマナスは偽果といって、茎の部分が肥大化するので、茎にトゲがあるので実にもトゲがあるのが一般的だと認識していました。

**【事務局】**

本州の方はトゲがある個体が多いという話を聞いていて、石狩浜だとトゲがない方が多いイメージがあります。ただ、その点について遺伝的に調べていないので書くにはどうかと思いました。

**【長谷川委員】**

遺伝子の話をするのであれば、石狩の特色があればいいですが、それに関して事業をするわけではないのであれば一般的な話でも良いような気がします。

**【松島会長】**

このコラムについては、遺伝的な多様性があるということが伝われば良いのかなと思います。

**【長谷川委員】**

内容については一般的で良いのかなと思います。石狩の具体例であげられれば良いかなとは思いますが。

**【赤坂委員】**

石狩市のヒグマは増毛の個体群の南限でありますので、北海道の施策と関連しながら書いていただければと思います。

**【長谷川委員】**

今の話からも、やはりコラムでヒグマの遺伝的な話をすると保全しようというイメージになるので、説明として一般的なことを書いた方が良い気はします。

**【安細委員】**

ヒメマイマイとかは濃昼では毛が生えているとかあるらしいですが。昆虫もアイヌキノオサムシとかそういったものもあります。ただ、ここは一般論でもよいのではと思います。

**【松島会長】**

メールでお知らせした、内海さんのお話をお伺いすると良いかなと思います。遺伝的に違おうとケヤマハンノキによって来る昆虫が異なるという話もあるので。

**【事務局】**

アカモズの遺伝的な違いについて書こうかと思ったのですが、研究の途中というところもあり特徴について書くのはあきらめたということもあります。石狩市の生きもので身近なものと同じと置き換えられると大切さが伝わりそうですが、別の場所でも大切なのは変わらないので一般的なものでも良いのかなと思っています。

**【松島会長】**

P8 の 175 行目にヒグマについて表記がありますが、アカモズについても触れても良いのではと思います。ヒグマについては絶滅の心配はあるのでしょうかね。

**【事務局】**

よく言われているのは、当別からのヒグマの経由はよく言われますが、浜益・厚田との個体群は違うのでしょうかね。

**【安細委員】**

先日松島会長からのメールでありましたが、石狩市の厚田区・浜益区のような呼び方についてはどうでしょうか。

**【事務局】**

旧石狩市域として、市役所内の書類では統一されていますね。

**【松島会長】**

旧という言い方は呼び方ないのかなと思いますね。行政単位での言葉の使い方があれば良いかと思うのですが。

**【安細委員】**

P13 の 346 行目に出てくる地表性昆虫について、エゾアカヤマアリのことかなと思うのですが、具体的に種名をあげるか、地表性昆虫を食べていることが分かっている～という部分に違和感があります。エゾアカヤマアリの現状が分からないということもあるので何とも言えないとは思いますが。

**【事務局】**

この表記をしたのはイソコモリグモが捕食される危険があったことと、ハマヒョウタンゴミムシダマシの捕食がデータであったのでそういったものを含めて書きました。日本語

としての表現に違和感があるのでしょうか。

**【安細委員】**

本当に地表性昆虫を食べていることに重きを置くと、地表性昆虫が珍しいからアズマヒキガエルが食べて問題となっているのかということでしょうか。そもそも外来種なので、今までいなかった捕食圧がかかっているとは思いますが。

**【事務局】**

もともといなかったアズマヒキガエルが在来種を捕食し…という言葉をつけてから説明すると分かりやすいのでしょうか。地表性昆虫を取り上げている点が確かに唐突ではありますが。

**【安細委員】**

アズマヒキガエルが他の生きものに与える影響については色々言われていますよね。エゾアカガエルのオタマジャクシがアズマヒキガエルのオタマジャクシを食べると死ぬとか。

**【事務局】**

石狩浜で言うと、そもそもエゾアカガエルがそんなにいないのではと思います。エゾサンショウウオもいないです。在来種への影響よりも、砂浜での越冬や、胃内容からも甲虫が出てきているということからそこへの影響について考えられるということで書いています。

**【松島会長】**

キタホウネンエビをオタマジャクシが食べる危険性があるということですか。

**【事務局】**

捕食については分かりませんが、水質悪化などは考えられるかもしれません。今まではキタホウネンエビの発生とアズマヒキガエルの繁殖期はかぶっていませんでしたが、年々繁殖期が早くなっているので今後考えたほうが良いかと思います。

**【安細委員】**

キタホウネンエビについてどこでも触れていませんでしたね。

**【事務局】**

アクションプランで一か所しか出てきていませんね。いしかり砂丘の風資料館にも聞いてみないことにはわかりませんが、どこまでオープンにして良いかはありますね。

**【長谷川委員】**

アクションプランにのせるよりも、かけはしに載せたほうが場所の特定はされにくいような気がしますね。名前をあげる分には他の希少種と同じかと思います。

別件になりますが、再エネについてももう少し突っ込んで書いてもらえると良いかと思います。環境審議会でも大きなテーマになっています。要望として、現状と課題では大きく取り上げてもらえるといいです。他のテーマについても課題や現状の部分が書かれていない印象です。生物に対してだけではないですが、アカモズなどの生息地破壊にはつながっています。5.6 は、本当は再エネを推進していきますという内容を書いた方が良いとは思

います。それによって気候変動を食い止めるという内容の方が良いとは思いますが。なので、希少種とかに生息を脅かす脅威として書いてほしいです。ソーラーパネルについては、石狩市での問題はありますか？

**【事務局】**

ソーラーパネルは自治体に報告することがないので、問題について上がってこないです。小型風車はガイドラインとしてあります。

**【長谷川委員】**

であれば、ないなりに書く必要があると思います。一般論としてもソーラーパネルを作ることによる生物への脅威があるので、今後そういった対策が必要になることは書いても良いかもしれませんが。再エネについては、適切な情報の収集をすとか、保全すとか。この話をどこが適切な場所という所なのどこかという点では、3.5 の資源利用なのか、3.6 の気候変動なのか、言いたいこととしてはネガティブなので違うような気がしています。ただ、生物多様性を脅かす問題として課題には入れてほしいと思います。

**【安細委員】**

5.2 にあるような情報の共有をしていくということがあるので、事業者に対してもという意味ではこの場所にも明記するほうが良いかなと思います。昨年度もあったカシワ林の話なども、情報の出し方も色々ありますが、位置情報を出して保全ということは今後必要だと思います。

**【長谷川委員】**

同じ文章が繰り返されるのは良くないですが、石狩市としてこの内容はかなり話題になっているので各所に散らばれていてもおかしくないと思います。

石狩市の温暖化対策や再エネの部署にも必ず地域戦略を根拠資料に、再エネを導入するようになれば良いと思います。

**【長谷川委員】**

自然関係への開発行為に関して、ネイチャーポジティブを考慮したオフセットを考えるように求める、そのためには調査してもらうという流れをお願いできないだろうか。

**【松島会長】**

ノーネットロスについては P13 のみでしたか。

**【事務局】**

その他にも基本方針の P18 にもあります。

**【長谷川委員】**

かけることとしては、配慮を求めるということでしょうね。ただ、できるなら再エネ関係のガイドラインを考えるということは書いてほしいと思います。後は、ゾーニングの活用について書いてほしいです。

**【松島会長】**

風発に限定はされますが、P31 の 869 行目の部分にゾーニングを基づいてという文言はあっても良いと思います。

**【長谷川委員】**

再エネに関しては今後どうしていくのか、ガイドラインの制定を目指すということを入れてもらえると嬉しい。本当は生物多様性に配慮した再エネのガイドラインや導入方法を検討していくことは入れてほしい。

**【松島会長】**

国や道との連携について書いてありますが、庁内での共有についても、もう少ししてほしいと思います。出来てから気が付くということが多いので、そういった情報共有をしてほしい。はまなすの丘に隣接した地域での太陽光については、除草剤などの影響が保護地区に関わる可能性があるので、そういった情報の共有はきちんとしてほしいです。書き方なのか、書いた後なのか分からないですが。

**【長谷川委員】**

他の市町村でもそうかもしれませんが。是非やってほしいですね。

**【松島会長】**

皆さん、職員が動くと思うので広がれば良いと思います。徳島県だと、部局長会議で多様性戦略について意見交換をしているようです。石狩市でもそういったことをやってもらえると良いと思います。

**【赤坂委員】**

P34.の推進体制について、地方公共団体ではなく道・市町村という分け方をしてもらいたいです。もう 1 つは、生物多様性基本法について書いてなかったと思うので触れてほしいです。

**【事務局】**

図 1-1 について、生物多様性基本法や生物多様性条約のことを入れて作りたいと思います。

**【安細委員】**

図 1-1 が分かりやすくできると、他の条例とのつながりも見えてくるので作成いただければと思います。

**【事務局】**

皆様のご意見を伺いながら作成したいと思います。ご意見どうぞよろしくお願いいたします。

**【長谷川委員】**

ステークホルダーについては、誰を主語にするのかによって文章が変わるので、もう一度意識して統一が必要かなと思います。もう一度内容を見直して文章の校閲が必要なので書いた方が良くないかと思いました。

【松島会長】

同じページの調査というのはどういった意味でしょうか。

【事務局】

環境基本計画をそのまま踏襲しました。

【松島会長】

この部分は、見直し・審議というような書き替えが良いかと思えます。時間となりましたので、また何かありましたら事務局までお願いいたします。

【事務局】

次回については、骨子修正をし、皆さんにメールでお知らせいたします。適宜連絡させていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年 9月 15日

いしかり生きものかけはし有識者意見交換会

議事録を確認しました。

会長

松島肇

